

優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業 事後評価結果

研究開発課題名	全方位型医療機器開発エコシステム構築に向けた拠点整備
研究開発代表機関	国立大学法人東北大学
研究開発代表者	張替 秀郎

【計画実施概要】

当初の計画

医療機器開発の支援実績を豊富に持つ拠点を3つの観点で整備を進め、医療機器開発エコシステムを立ち上げる計画を立案した。すなわち、①ニーズドリブンで開発を促進する臨床現場・実証の場の整備、②ネットワークを駆使しつつ、必要な伴走支援が可能な組織の構築、③開発に必要なノウハウ/資金を収集可能なネットワークの構築、である。

成果

ニーズドリブンでの開発の場に整備については、海外の成功事例を参考に質を高める取り組みを行い、海外展開のプラットフォームを整備した。伴走体制の構築においては、産業界の人材との連携、スタートアップ(SU)への支援、海外展開に向けた支援体制を強化した。その結果、医療機器開発の伴走支援案件40件を今年度獲得した。

課題

医療機器開発エコシステムを形成するには、開発成功事例の経験の蓄積が必要であるため、数多くの開発案件が集積し、自立して効率的に伴走支援を提供できる体制づくりが課題である。

今後の方針

全国のアカデミアに加えて、SUを含む医療機器企業、他業種からの新規参入企業が医療機器開発を志向する際に信頼される支援拠点を目指して整備を続け、日本の医療機器産業の振興に貢献する。

【評価コメント】

医療機器の開発支援に向け、CRIETOを中心に医療現場観察プログラム、開発伴走支援の体制を構築しており、今年度の医療機器開発の伴走支援案件としても、十分な成果を上げたと評価された。

以上